

コミュニティ・スクール通信

小山市梁小学校地域連携部
第11号
H29. 3. 15発行

**コミュニティ・スクール通信最終号です。
2年間、ご支援・ご協力ありがとうございました。**

道ばたの花も徐々に色めき、春の気配を感じる季節となりました。3月5日の閉校式では、地域の方々にも多数ご参加いただき、本当にありがとうございました。子どもたちは、地域への「感謝」の気持ちを精一杯表現することができたと思います。

さて、閉校に伴い、コミュニティ・スクール通信も、今回で最終回となりました。2年間の短い期間ではございましたが、地域の皆様のおかげで、学校と地域を結ぶ一助となることができました。誠にありがとうございました。

梁小学校は閉校となりますが、絹義務教育学校も、梁小学校に引き続きコミュニティ・スクールに指定されています。これからも、変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



2・3月の学校支援ボランティア

国際理解ボランティア

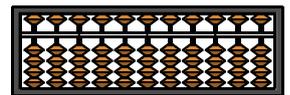
韓国



ニュージーランド
オーストラリア

3つの国の文化や食生活・学校の様子など、様々なことを学びました。また、自国の文化や生活との違いについても児童一人一人が考えることができました。

そろばんボランティア



3日にわたり、3年生の「そろばん学習」の支援を行っていただきました。

一人一人の習熟度に合わせ、きめ細やかに見ていただくことができました。

梁小お別れ会、ご協力ありがとうございました！

おはやしボランティア



バルーンリリースボランティア



「梁小音頭」はおはやしボランティアの皆さんと最後の演奏をすることができました。また、バルーンリリースでは、高校生によるボランティアの支援も受け、無事にひまわりの種と感謝の言葉をつけた風船を飛ばすことができました。

最後に、心温まるお話です！

なんと60キロ以上離れた場所(海まで約5キロ)に梁小の「ありがとうの心」が届きました！

3月9日朝、茨城県水戸市の大沢様から学校にお電話がありました。「日曜日の夕方、風船を見つけた。梁小学校を訪問し、直接子どもたちにひまわりの種のお礼をしたい」とのことでした。

そして、次の日。梁小66人へのプレゼント(鉛筆)をもって大沢さんのご家族が本校を訪問して下さいました。梁小の子どもたちは大興奮。「うれしい！すごい！」と大沢さんご家族を拍手で歓待しました。須藤朝姫さんが児童代表でお礼の言葉を大沢さん達に伝えました。大沢さんは、「自分たちこそ元気をもらいました。」との言葉を残し、笑顔で梁小を後にされました。



「ありがとう」の会を開きました！



梁っ子へのプレゼント鉛筆。一本一本丁寧にラッピングして下さいました。



風船3つがからまっていたそうです。

※3月7日には「茨城県東茨城郡茨城町常井のおばちゃん」という方からお葉書が届きました。「3月6日の朝、庭先で見つけました！！」という題です。原文のまま掲載します。「はるかに野山を越えて春を迎えた私の元に飛んできてくれた“ひまわり”ちゃんに感謝です。ありがとう。蒔いてみますね。長い伝統校がなくなるのは淋しいでしょうが、新たな学び舎への“ステップ”ですね。みな様末永く幸せに学んで下さい。祈ってます。」

(ちなみに茨城町は梁小から55km東の町です。)

